

## 登園届(保護者記入)

ちくば認定こども園 施設長 殿

入園児名 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ くん)

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

(病名) (該当疾患に☑をお願いします)

<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症
<input type="checkbox"/>	マイコプラズマ肺炎
<input type="checkbox"/>	手足口病
<input type="checkbox"/>	伝染性紅斑(りんご病)
<input type="checkbox"/>	ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)
<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ
<input type="checkbox"/>	RSウイルス感染症
<input type="checkbox"/>	帯状疱疹
<input type="checkbox"/>	突発性発疹
<input type="checkbox"/>	膿痂疹(とびひ)
<input type="checkbox"/>	

(医療機関名) \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日受診)に  
おいて病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
より登園いたします。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保護者名 \_\_\_\_\_

※保護者の皆さまへ

こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症については、登園の目安を参考に、かかりつけ医の診断に従い、登園届の記入及び提出をお願いします。

# 《子どもに起きやすい伝染病》

2018年保育所における感染症対策ガイドラインより

病名	感染しやすい期間（※）	主要症状	登園のめやす
溶連菌感染症	抗菌薬内服後 24 時間が経過するまで	のどの痛み、熱、体や手足の発疹、舌はイチゴのようになる。	主要症状が消失するまで（発熱、咽頭痛発疹等）
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	咳	発熱や激しい咳がおさまっていること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	感染後5～10日に数日間のウイルス血症を生じ、この時期に発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛等の軽微な症状がみられる。その後、両側頬に孤立性淡紅色斑丘疹が現れ、3～4日のうちに融合して蝶翼状の紅斑となる	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱・吐気/嘔吐・下痢(黄色より白色調であることが多い)《合併症》けいれん、肝炎、まれに脳症	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること（普通便に戻るまで）
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	突然の高熱、咽頭痛、口蓋垂付近に水疱や潰瘍形成。咽頭痛がひどく食事、飲水ができないことがある。	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴、呼吸困難	重篤な呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱が形成している間	数日間、軽度の痛みや違和感（子どもの場合ははっきりしない）が、その場合によってはかゆみがあり、その後、多数の水疱（水ぶくれ）が集まり、紅斑となる。日が経つと膿疱や血疱、びらんになることもある。発熱はほとんどない。1週間で痂皮（かさぶた）化して治癒する。	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
突発性発しん	—	生後6か月～2歳によくみられる。3日間程度の高熱の後、解熱するとともに紅斑が出現し、数日で消えてなくなるという特徴を持つ	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱、手のひら、足の裏、口の中に水痘性発疹	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
膿疱疹（とびひ）	効果的治療開始後 24 時間まで	粟粒大の水痘性発疹、発熱	水ぶくれ、ただれが完全に治るまで
アタマジラミ症	—	成虫が頭皮から吸血する。頭皮にかゆみが出る。	完全除去に努めること

※手足口病・膿疱疹(とびひ)・アタマジラミ症は症状によって家庭保育をお願いすることもあります。

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（―）としている。